

2019年3月期 第2四半期 決算説明会資料

2018年4月1日～2018年9月30日

株式会社マンドム
(証券コード 4917)



目次

1. 2019年3月期第2四半期決算
2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況
3. 2019年3月期 通期業績見通し

注) 2019年3月期第1四半期より、国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除しております。本資料における2018年3月期第2四半期業績につきましても、同様の基準で算定したものを掲載しております。(該当箇所には * をつけております)

2019年3月期第2四半期 決算サマリー

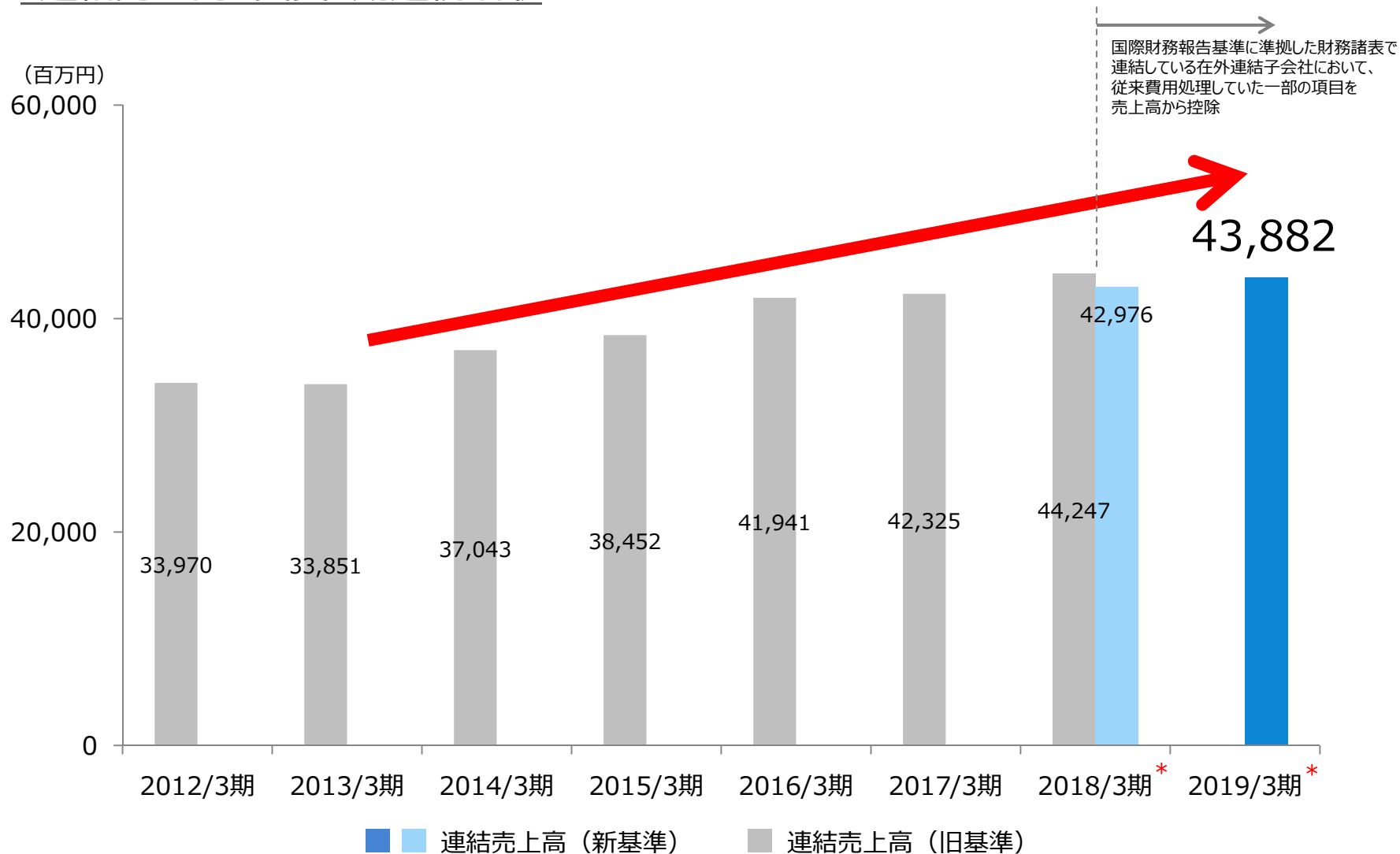
- ・売上高はインドネシアの減収分を日本、海外その他でカバーし、全体としては計画通りに進捗
- ・利益面は海外その他における増収効果と、国内外で販売費の投下時期変更により、結果的に増益となった
- ・下半期へ変更分の費用投下と、インドネシアの厳しい市場環境を考慮し、通期業績予想の修正は無し

1. 2019年3月期第2四半期決算

1. 2019年3月期第2四半期決算

1) 連結売上高、各段階利益共に順調に推移

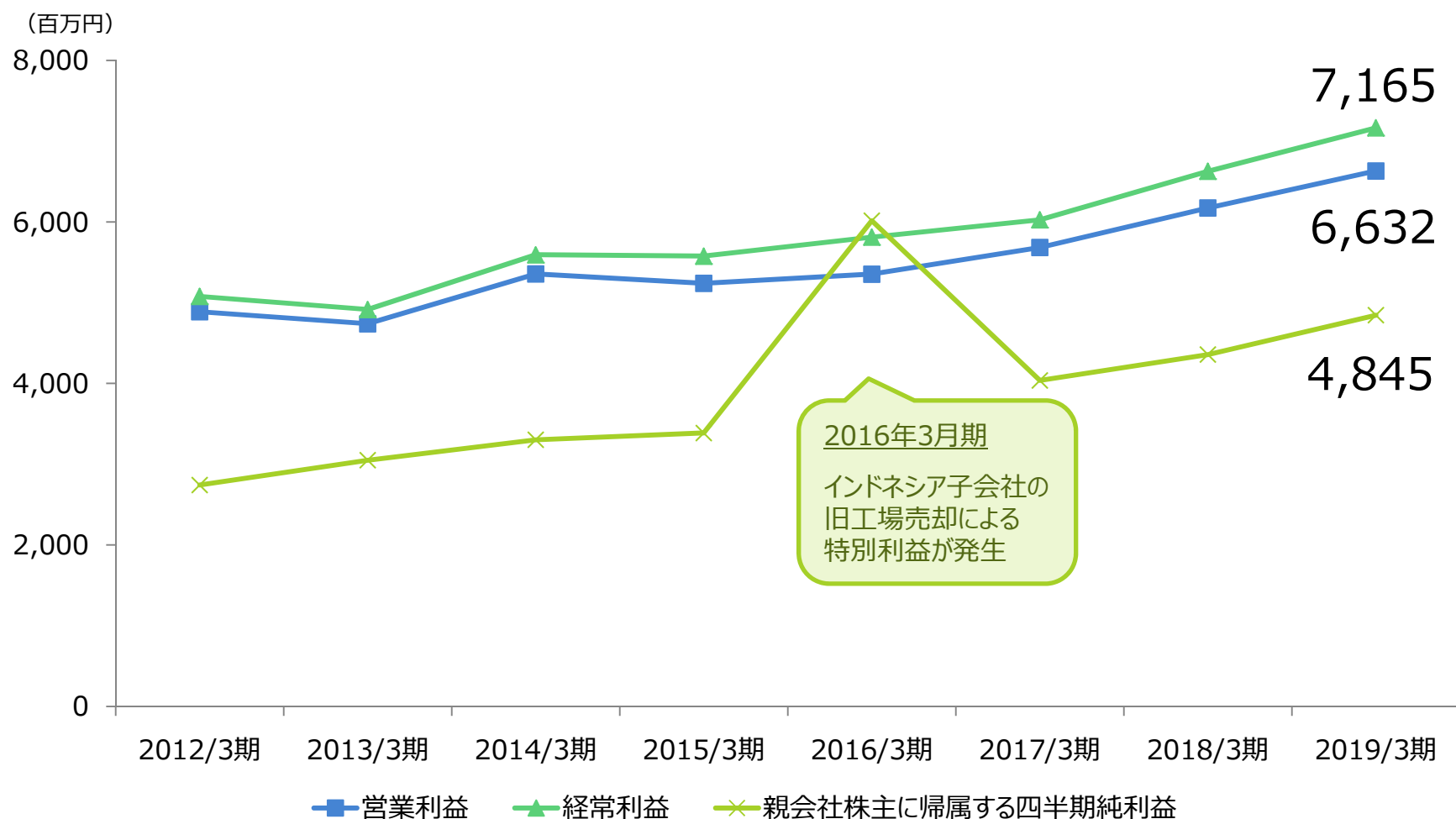
・連結売上高 実質6期連続増収



1. 2019年3月期第2四半期決算

1) 連結売上高、各段階利益共に順調に推移

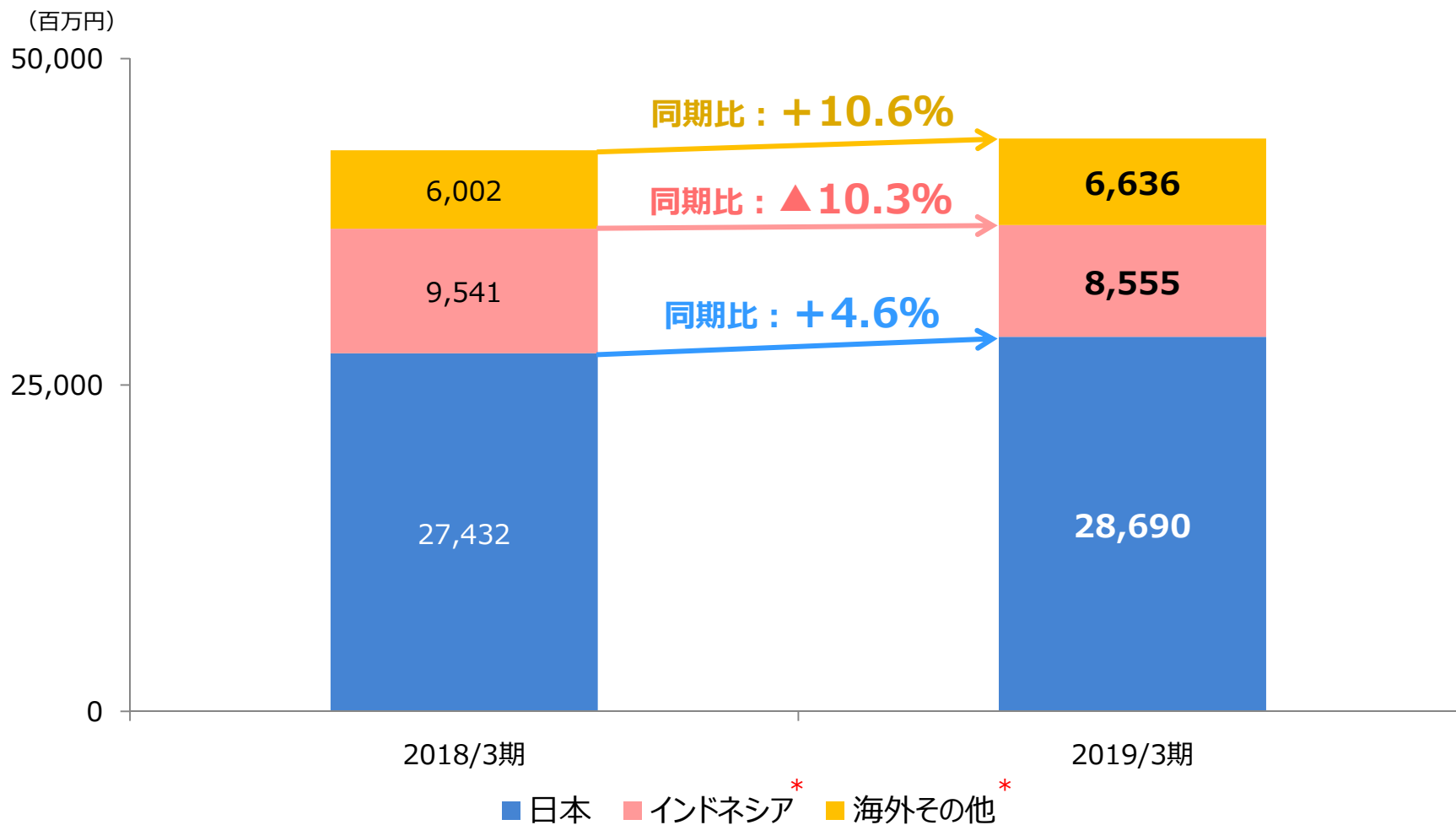
・連結営業利益は3期連続、連結経常利益は4期連続 第2四半期として過去最高を更新



1. 2019年3月期第2四半期決算 <所在地別売上高>

2) 日本・海外その他は順調に推移したものの、インドネシアは苦戦

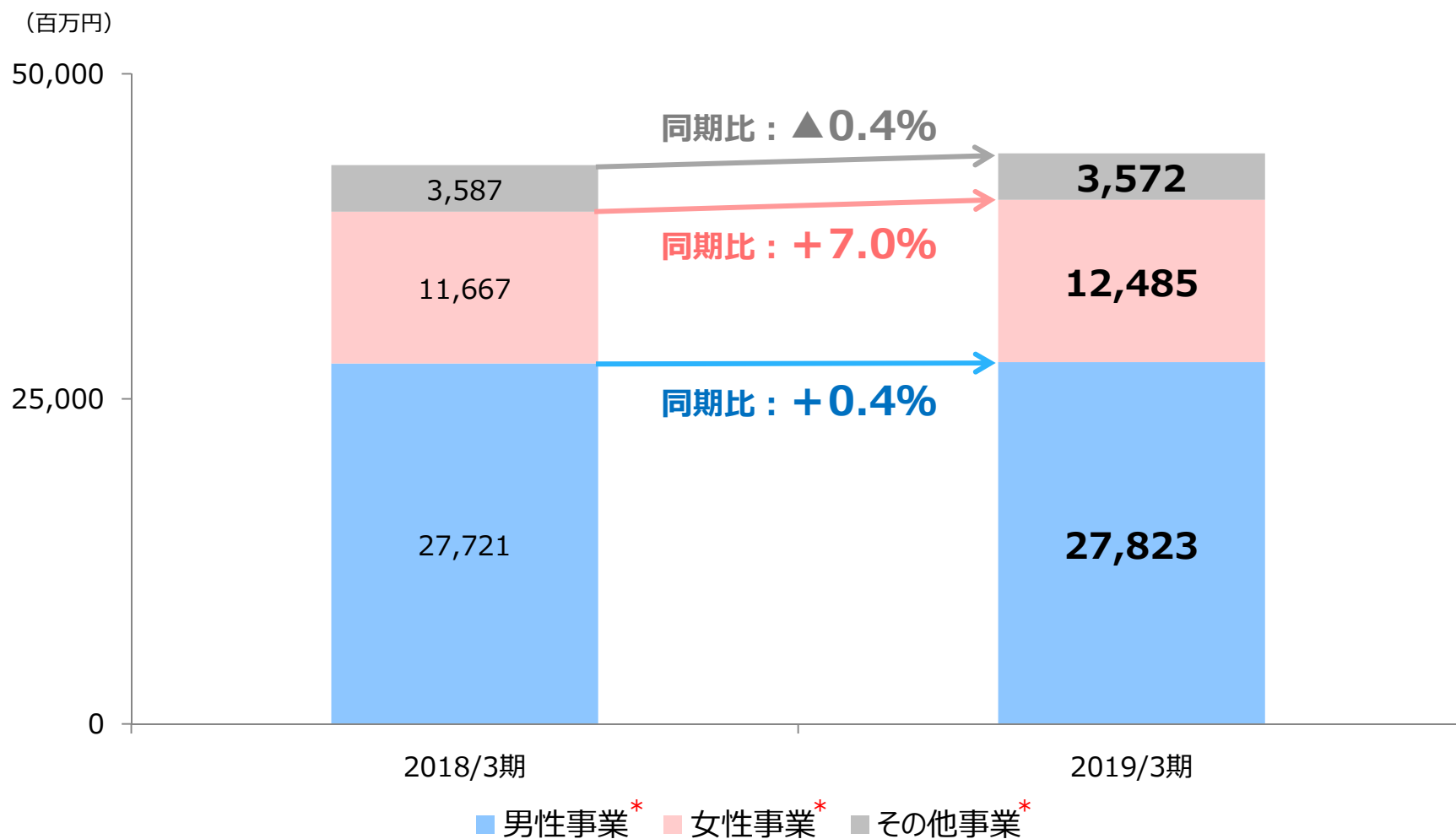
・連結売上高 海外比率は34.6%



1. 2019年3月期第2四半期決算 <事業別売上高>

3) 女性事業が、国内外でのビフェスタの好調などにより大幅に成長

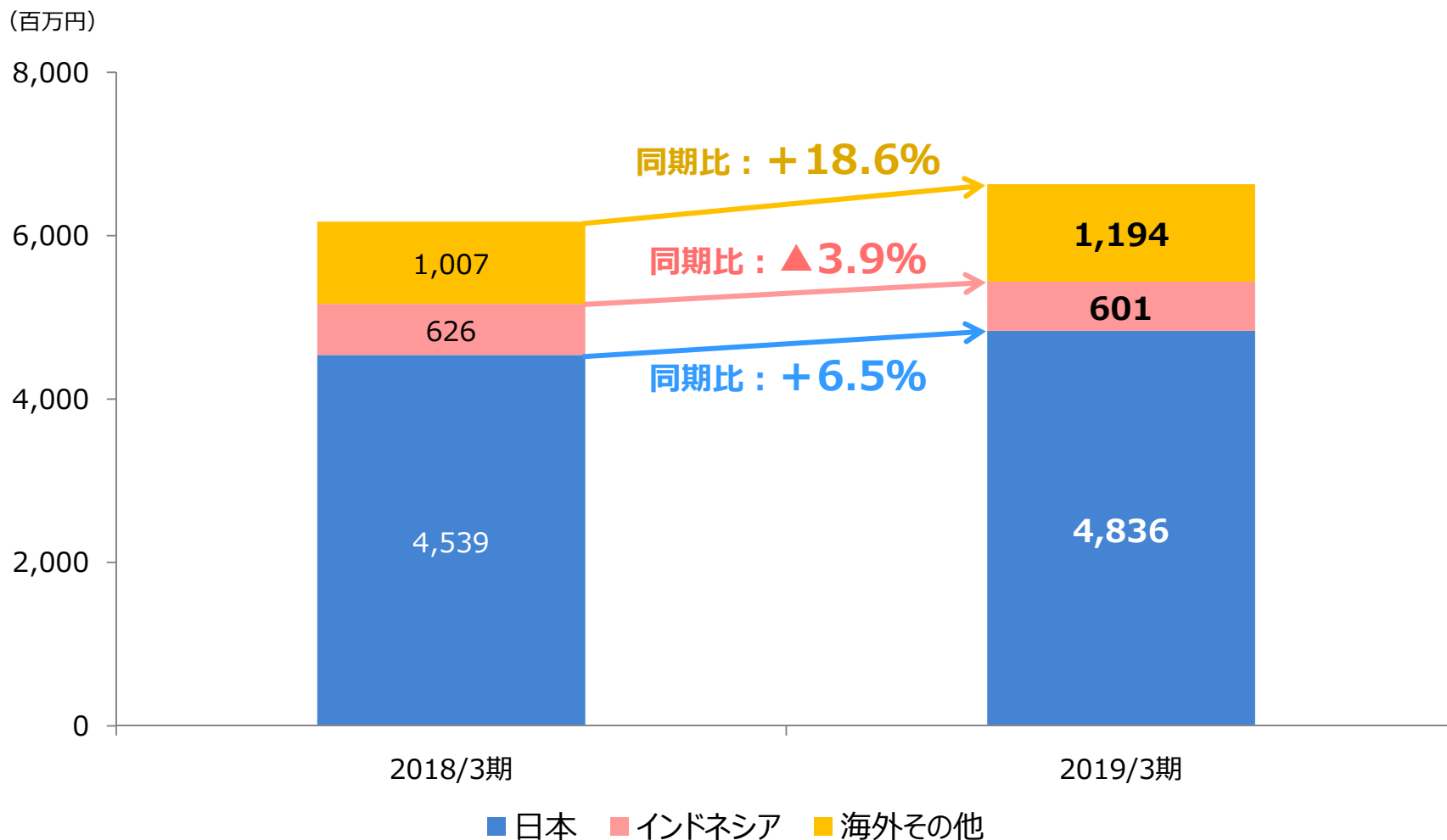
・国内外のビフェスタとルシードエルが好調、インドネシア以外のギャツビーも順調



1. 2019年3月期第2四半期決算 <所在地別営業利益>

4) 当初減益予想も増益

・海外その他の増収効果および、日本とインドネシアにおける販売費用の投下時期変更により、全体として増益



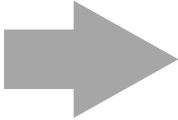


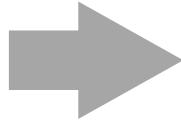
ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ビフェスタ、ルシードが順調に推移
- ・ギャツビーも夏シーズン品を中心に堅調に推移

主要ブランドの状況

男性事業	女性事業
<p>GATSBY</p> 	<p>Bifesta</p> <p>ビフェスタ</p> 
<p>LÚCIDO</p> 	<p>Barrier Repair</p> 

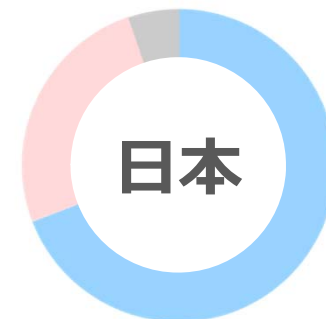
1. 2019年3月期第2四半期決算 <事業推進の概況（日本）>

男 性 事 業

売上高事業別構成比

GATSBY

- ・記録的猛暑の影響を受け、ボディペーパーを中心に、夏シーズン品が好調に推移
- ・ブランド力強化に向け、ブランド価値を再定義
今秋スキンケアシリーズをリニューアルし、イメージキャラクターも一新



■ ボディペーパー



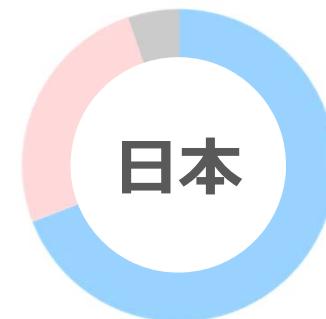
■ 新TV-CM『GATSBY COP 第1部篇』



男 性 事 業

売上高事業別構成比

LÚCIDO



- ・「ニオイケア」シリーズを中心に順調に推移
- ・今秋は洗顔シリーズを追加発売 & リニューアルし、昨年リニューアルしたスキンケアシリーズとともに、ミドル男性へのスキンケア提案強化を図る

■ 洗顔シリーズ



■ スキンケアシリーズ TVCM



1. 2019年3月期第2四半期決算 <事業推進の概況（日本）>

女性事業

売上高事業別構成比

Bifesta
ビフェスタ



- ・引き続き、アイメイクアップリムーバーとクレンジングシートが好調に推移
- ・今秋、新たにクレンジングオイルを発売し、さらなる提案カテゴリーの拡大を図る

■ アイメイクアップリムーバー



■ クレンジングシート



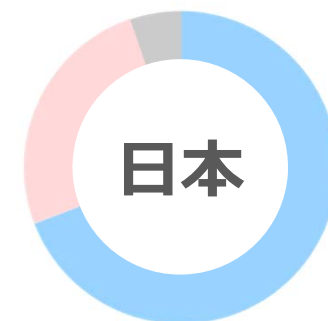
■ クレンジングオイル



女性事業

売上高事業別構成比

LÚCIDO-L



- ・「アルガンオイル」シリーズが順調に推移
「#EXヘアオイル」がヘアオイルカテゴリーにて単品数量ランキング1位*を獲得
- ・「#EXヘアリペアオイル」を追加し、よりダメージケアウォンツの高い生活者にも対応

■ #EXヘアオイル



■ #EXヘアリペアオイル



*マンドム算出市場データ（数量）
期間：2018年4月～9月
ヘアオイルカテゴリー

そ の 他

【インバウンド】

- ・6月18日の中国ECサイトでの大型キャンペーンに向けた事前取り込みの影響も落ち着き、訪日観光客や、越境EC目的と考えられる購入の合算は、月平均4億円程度
- ・帰国後にも購入していただけるよう水平展開を実施した「バリアリペア シートマスク」は、各国で好調に推移

■ バリアリペア シートマスク

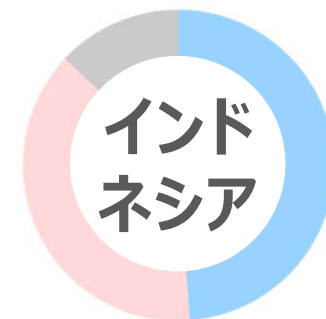


■ マレーシアの店頭




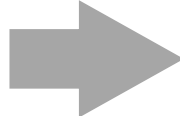
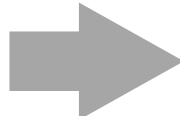
ブランド別事業推進状況

売上高事業別構成比



- ・ギャツビーはポマードを除く各カテゴリーで苦戦
- ・女性事業はピクシー、ピュセルともに全体としては堅調な推移

主要ブランドの状況（連結ベース）

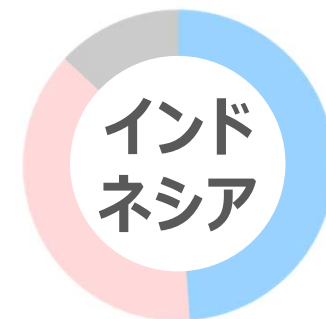
男性事業	女性事業
<p>GATSBY</p> 	<p>PIXY</p> <p>My Beauty, My Energy</p> 
	<p>Pucelle</p> 

男性事業

売上高事業別構成比

GATSBY

・「スタイリングポマード」は好調を維持しているものの、ワックスやジェルなどの剤型がカニバリの影響で低迷し、全体的に不調



■ スタイリングポマード

■ ポマード以外の剤型



<ウォーターグロス（ジェル）>



<スタイリングワックス>



<トリートメントヘアクリーム>

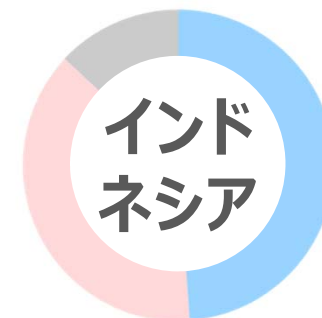
1. 2019年3月期第2四半期決算 <事業推進の概況（インドネシア）>

女性事業

売上高事業別構成比

PIXY

My Beauty, My Energy



- ・ベースメイクの伸び悩みや、新製品発売時期の遅れがあったもののデコラティブカテゴリーが好調で、全体としては堅調な推移
- ・主力の2ウェイケーキなどブランドイメージを一新した商品を発売し、ブランド強化を進行中
- ・6月にシートマスクの販売を開始

■ブランドイメージを一新した2ウェイケーキ



■シートマスク



補 足

【直近業績】

PT Mandom Indonesia Tbk 3Q業績（現地P/L）

（単位：百万Rp.）

	2019/3期	2018/3期	同期比
売上高	2,048,794	2,076,502	98.7%
営業利益	175,474	196,033	89.5%
四半期純利益	150,326	161,635	93.0%

・競争環境が激化していることに加え、新製品の遅れなどの影響により、厳しい状況が続く

補 足

【流通課題について】

①インドネシア政府による税制強化

- ・当初4月実施予定とアナウンスされていたが、無期限延期となっており、影響なし

②当社流通段階における商慣習の見直し

- ・マングラムワールの拡大につながる、より効果性の高い費用投下方法を協議中

■ 流通イメージ図



補 足

【基盤整備】

- ・人事制度や報酬体系の改革に着手

【その他】

- ・本社機能をジャカルタに移転



<オフィスがあるビル全景>

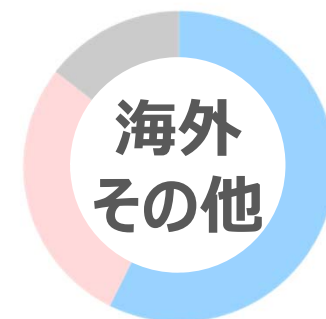


<オフィス内観>

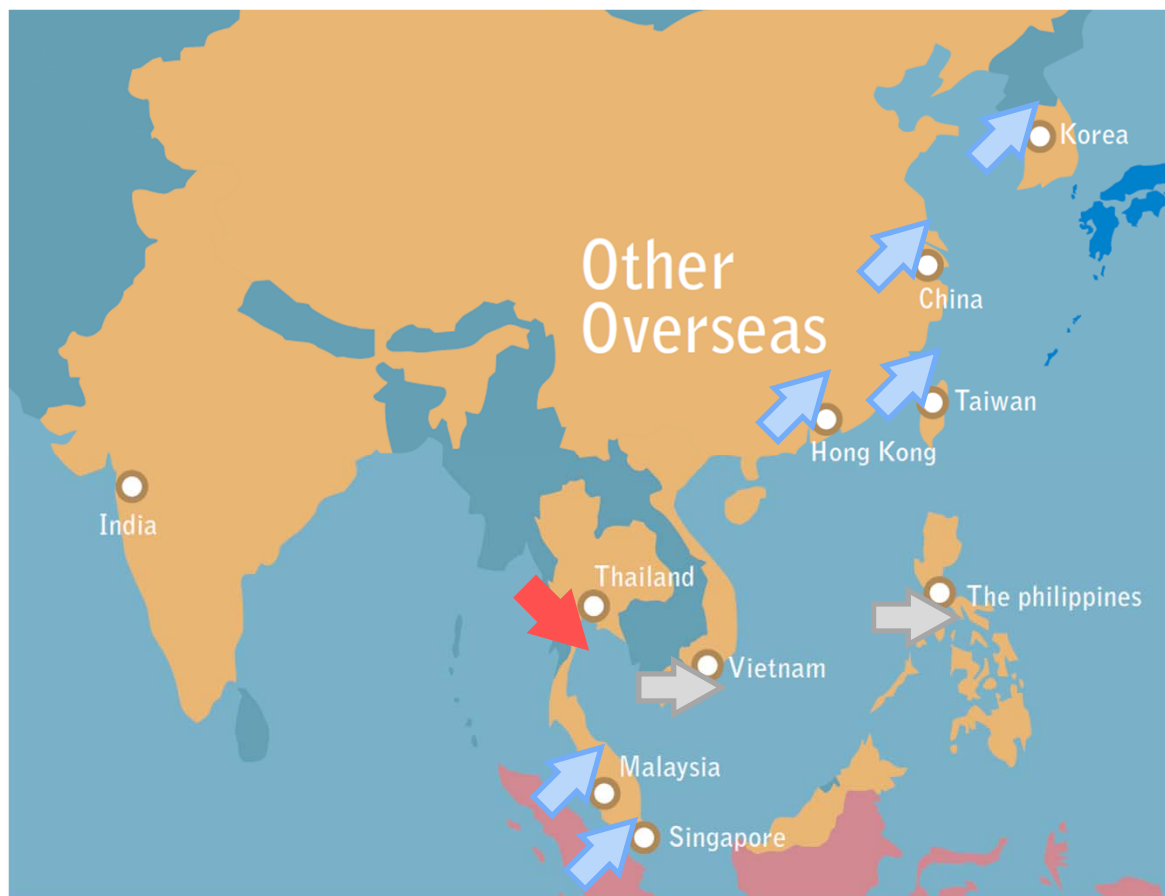


事業推進状況

売上高事業別構成比



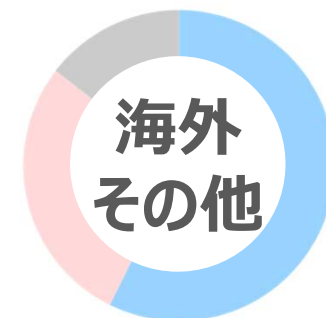
- ・全体としては好調に推移
- ・現地通貨ベースで中国、マレーシアなどが2桁成長



男性事業

売上高事業別構成比

GATSBY



- ・ポマードは各国好調に推移し、実績を拡大
マレーシアではワックスに次ぐ売上規模にまで拡大
- ・追加アイテムの発売や、取扱いアイテムの拡大など、各国で強化

■スタイリングポマード（インドネシア製）



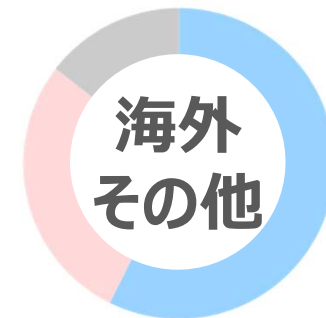
■ドレッシングポマード（中国製）



男性事業

売上高事業別構成比

GATSBY



- ・ミャンマーでも展開をスタート
ブランドアンバサダーとして、現地の国民的スターを起用

■ブランドアンバサダーの サイサイカムレンさん



■モダントレードの店頭



■トラディショナルトレードの店頭

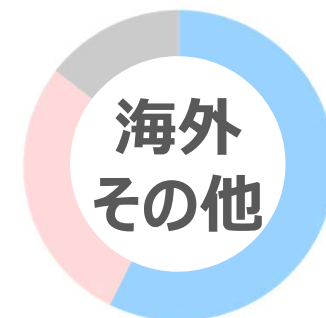


1. 2019年3月期第2四半期決算 <事業推進の概況（海外その他）>

女性事業

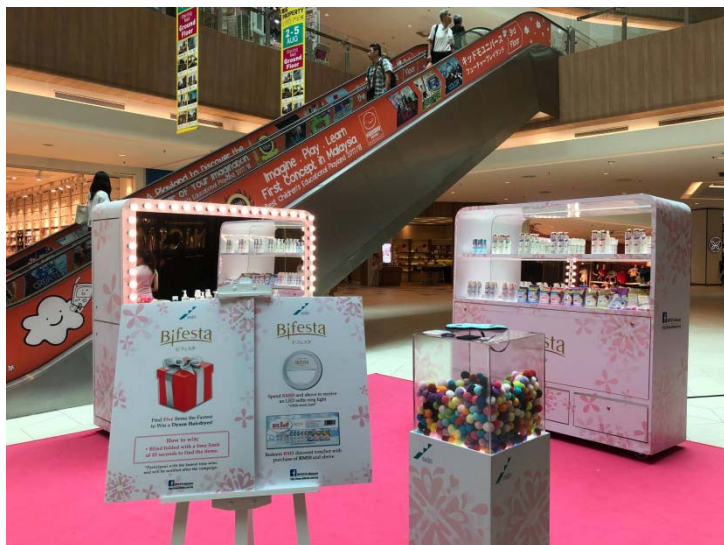
売上高事業別構成比

Bifesta
ピフェスタ



- ・日本同様「アイメイクアップリムーバー」と「クレンジングシート」が大きく成長し、実績をけん引
- ・近年苦戦していたタイも、生活者のウォンツにあわせたアイテムの拡充や積極的なマーケティング投資により売上を回復

■ マレーシアのサンプリングイベント



■ タイで展開しているクレンジングローション（90ml）



2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

(2018年3月期～2020年3月期)

2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

マンダムの夢 (=ビジョン)

VISION2027

2027年ありたい姿

総合化粧品ではなく唯一無二の強みを持った化粧品会社

- ①「常に本物を提案する」会社
- ②「Global & Only One」な会社
- ③「Exciting & Excellent」な会社

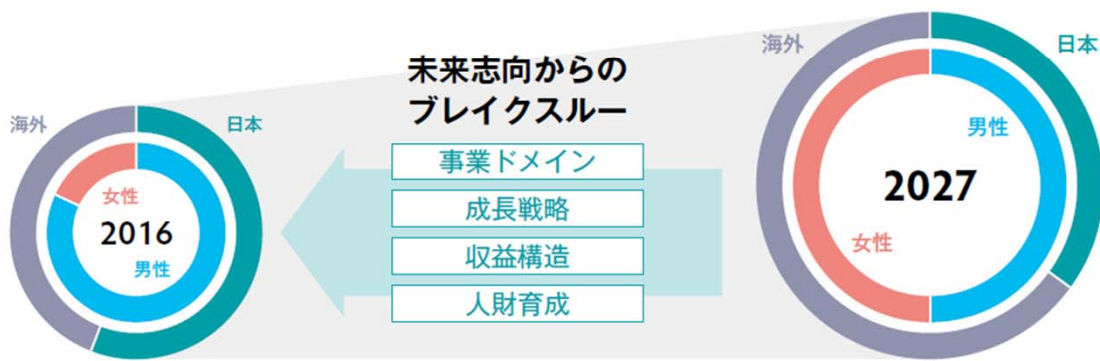
ビジョンスローガン

オンリーワンの強みを持ったグローバル10億人のお役立ち

基本方針

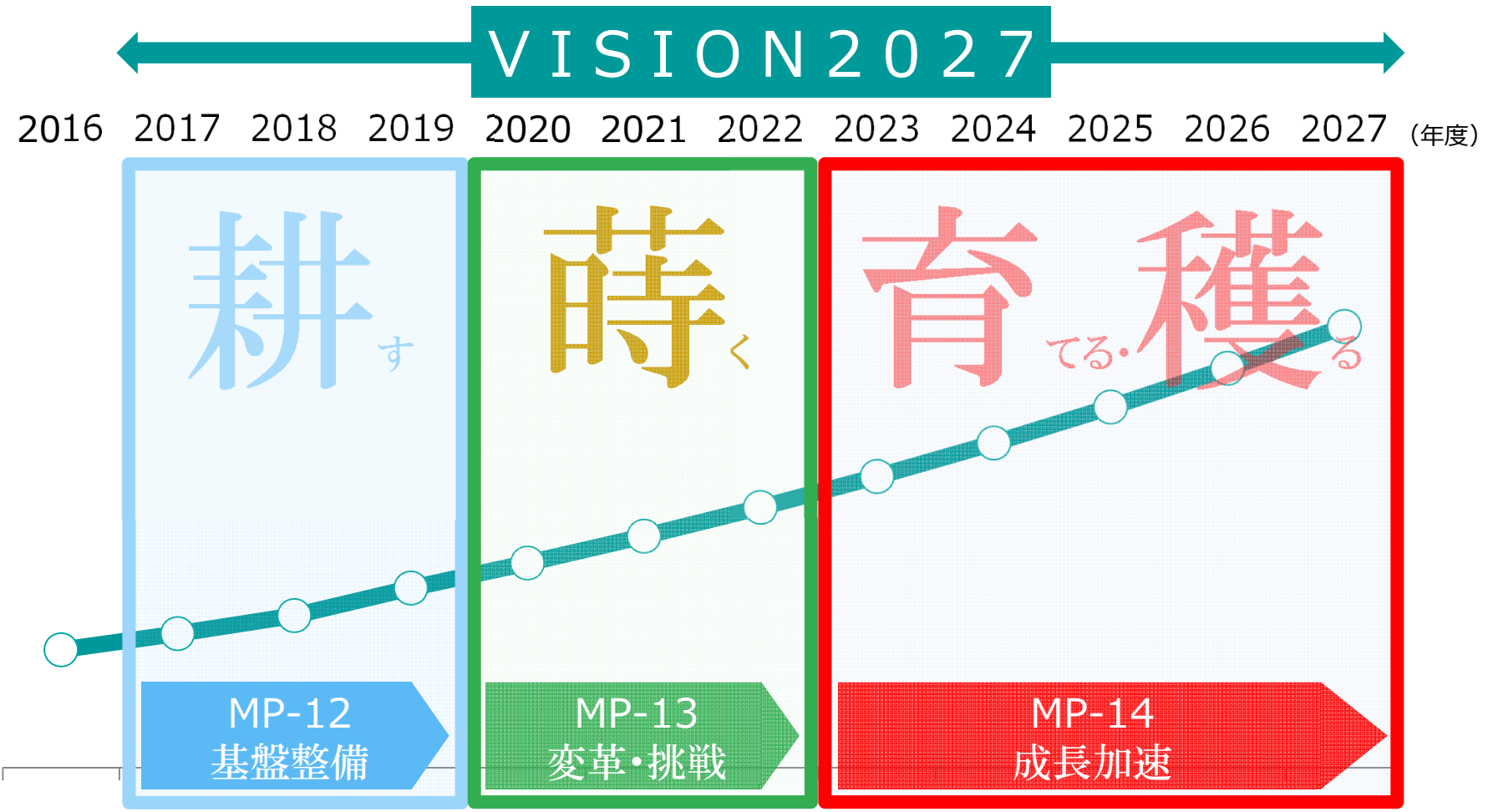
- ① アジアの成長を取り込んだ真のグローバルカンパニーへの進化
- ② 男性事業のお役立ちの更なる深化と、女性事業における積極的投資および拡大
- ③ 本物を提供するストック型マンダムワールドづくり

イメージ



2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

MP-12の位置づけ



VISION2027実現のための企業基盤整備

経営基本方針

1. カテゴリー戦略の推進とブランド価値向上の徹底
2. インドネシアを中核にした海外事業の成長性向上
3. グループオペレーション体制の構築と単位あたり生産性の向上

2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況

■ 経営基本方針に基づいて実施した主な施策

- ① 40周年を迎えたギャツビーのブランド力強化
- ② ビフェスタのインナーブランディング企画を開催
- ③ 体温調整を担うヒト汗腺において、発汗収縮の可視化と数値化により、評価法の確立に成功

2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <GBブランド力強化>

①40周年を迎えたギャツビーのブランド力強化に向け、価値を再定義

- ・デジタル化、ボーダレス化が進む中、アジアを1つのマーケットとして捉えなおし、グローバル視点でのブランド価値、スピリットを規定
- ・アジア生活者のライフスタイル変化へのお役立ちを軸とした展開を行う

GATSBY
★
COP

なんだ有能か。



YUYA YAGIRA / MACKENYU ARATA

NVKUTUFU / DIVASSE / BABAHUBAAN / KOTOBUKI / ARIQUI / PEPE / JABOTS / ARIMA2200 / GRAY-I / LALA / MONGS / PUDING NAKAYAMA / OGU-GOOD NIGHT / YAKARA / WAKKABOO

◆ KINMAE Inc. 800041 JCC T&J M&A T J IREXCO L'ETEMOD



2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <BAインナーブランディング>

②ビフェスタのインナーブランディング企画を開催

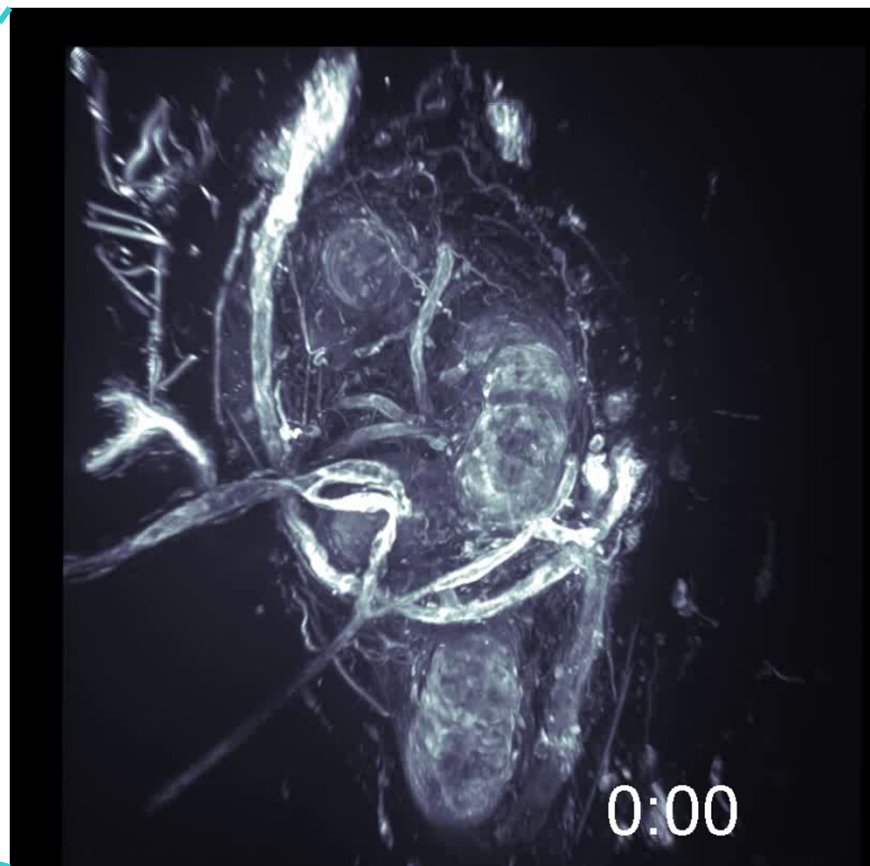
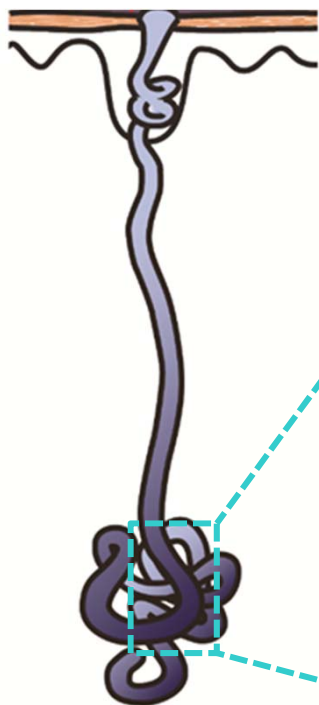
- ・8月29日をビフェスタの日として設定し、“ビフェスタのお誕生日会”を実施
展開各国が共通して同じ日に同じことを行ったことによる絆づくり



2. 第12次中期経営計画(MP-12)進捗状況 <ヒト汗腺>

- ③ 体温調整を担うヒト汗腺において、発汗収縮の可視化と数値化により、評価法の確立に成功

汗腺の図



発汗収縮による
チューブの動きを観察

3. 2019年3月期 通期業績見通し

3. 2019年3月期 通期業績見通し

1)2019年3月期 通期の連結業績見通しは修正無し

・下半期は国内外での時期変更した販売費の投下やインドネシアでの競争激化を想定

(単位：百万円)

	上半期実績			下半期見通			通期見通		
	2019/3期	2018/3期	同期比	2019/3期	2018/3期	同期比	2019/3期	2018/3期	同期比
売上高	43,882	42,976	102.1%	36,117	34,510	104.7%	80,000	77,486	103.2%
営業利益	6,632	6,173	107.4%	1,967	2,284	86.1%	8,600	8,457	101.7%
経常利益	7,165	6,628	108.1%	2,134	2,635	81.0%	9,300	9,264	100.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,845	4,357	111.2%	954	1,729	55.2%	5,800	6,086	95.3%

※国際財務報告基準に準拠した財務諸表で連結している在外連結子会社において、従来費用処理していた一部の項目を売上高から控除する金額について、下半期見通しおよび通期見通しにおいては、2019年3月期・2018年3月期ともに変動する可能性があります

【下期見通し与件】

- 士) 訪日外国人の動向変化
- 士) 為替変動
- 一) 国内外において時期変更となった販売費の費用投下
- 一) 福崎工場新生産棟建設に伴う、除却損発生時期の変更
- 一) インドネシア女性分野における厳しい競争環境

3. 2019年3月期 通期業績見通し

2) 時期変更となった費用投下および、国内外で積極的なマーケティング投資を予定

日本	<ul style="list-style-type: none">・ギャツビーに対するマーケティング投資・ヤング男性、ミドル男性へのフェイスケア提案強化・洗い流しタイプのクレンジング市場での認知拡大に向けたマーケティング投資
インドネシア	<ul style="list-style-type: none">・新製品へのマーケティング投資・ピクシーリブランディングに伴う積極的なマーケティング投資・男性フェイスケアカテゴリーの強化
海外その他	<ul style="list-style-type: none">・ポマードを中心とした男性ヘアスタイリングの強化・ビフェスタ強化に向けた、良質な口コミ醸成施策の実施

※青文字は上期計画からの実施時期変更によるもの

◆ 參考資料

(参考資料) 2019年3月期第2四半期 連結業績概要

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比	前期レート 換算比	当初 計画比
売上高*	43,882	42,976	905	102.1%	102.8%	102.1%
営業利益	6,632	6,173	459	107.4%	—	111.5%
経常利益	7,165	6,628	536	108.1%	—	112.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,845	4,357	487	111.2%	—	121.1%

EPS	103.62円	93.20円
-----	---------	--------

(参考資料) 連結売上高

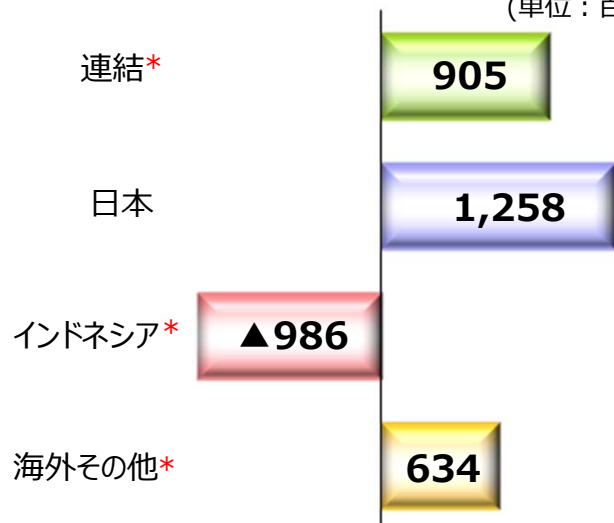
2-1.所在地別売上高

(単位：百万円)

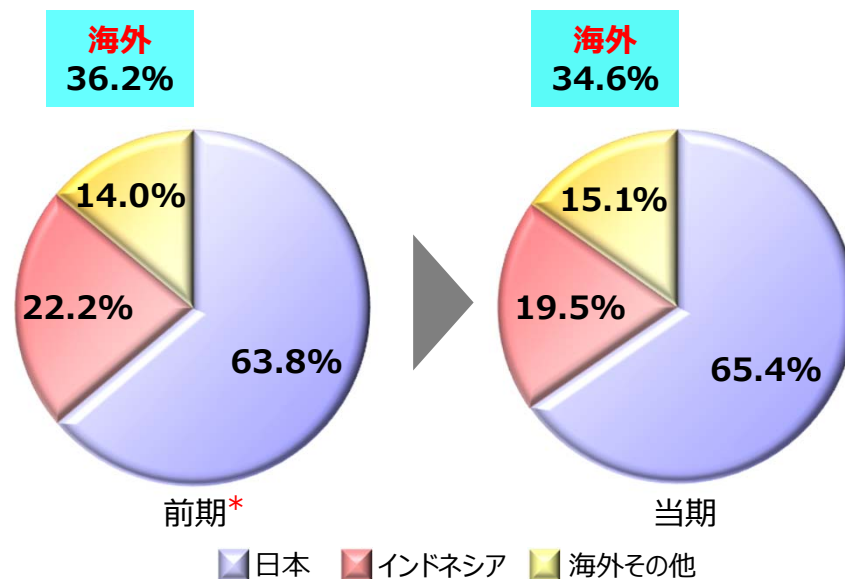
	第 2 四 半 期			
	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比
売上高*	43,882	42,976	905	102.1%
日本	28,690	27,432	1,258	104.6%
インドネシア*	8,555	9,541	▲ 986	89.7%
海外その他*	6,636	6,002	634	110.6%

2-2.所在地別売上高 同期増減額内訳

(単位：百万円)



2-3.所在地別売上高 同期構成比推移



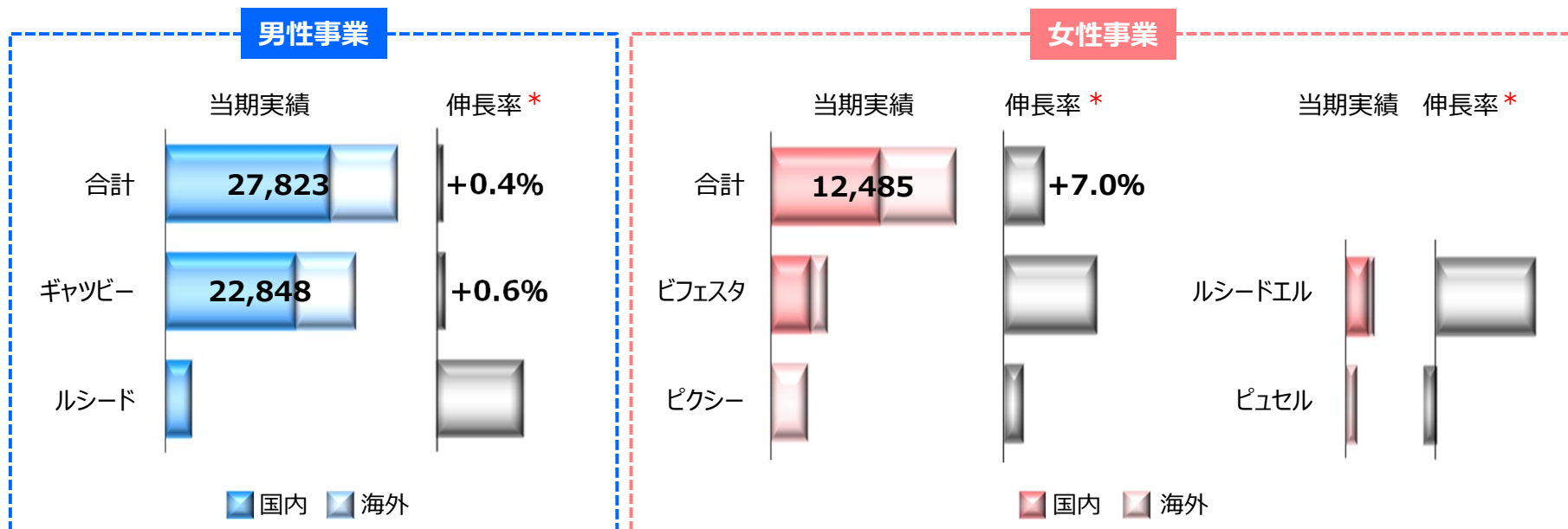
(参考資料) 連結売上高

2-4.事業別売上高

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期			
	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比
売上高*	43,882	42,976	905	102.1%
男性事業*	27,823	27,721	102	100.4%
ギャツビー*	22,848	22,711	136	100.6%
女性事業*	12,485	11,667	818	107.0%
その他事業*	3,572	3,587	▲ 14	99.6%

※女性事業内訳：女性コスメティック8,064百万円（同期比107.9%）/女性コスメタリー4,421百万円（同期比105.5%）



(参考資料) 連結段階利益

3-1.所在地別営業利益

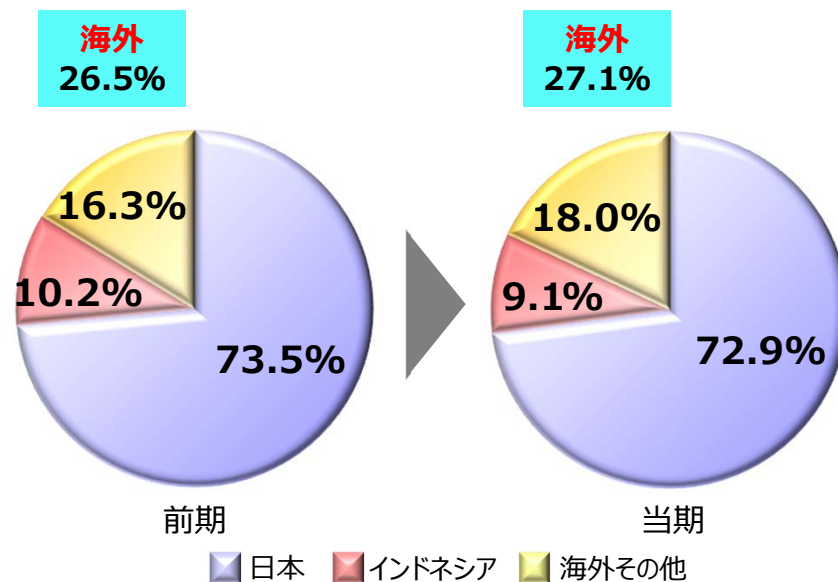
(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2019/3期		2018/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業利益	6,632	15.1%	6,173	14.4%	459	107.4%
日本	4,836	16.9%	4,539	16.5%	296	106.5%
インドネシア	601	7.0%	626	6.6%	▲ 24	96.1%
海外その他	1,194	18.0%	1,007	16.8%	186	118.6%

3-2.所在地別営業利益 同期増減額内訳

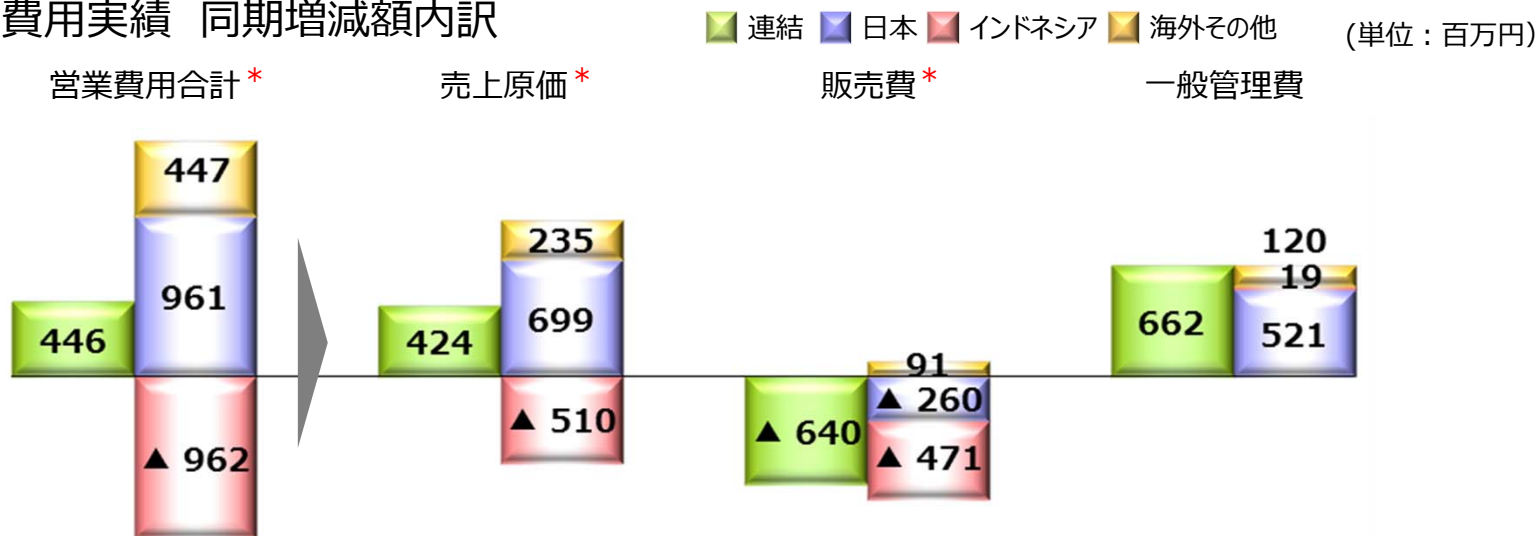


3-3.所在地別営業利益 同期構成比推移

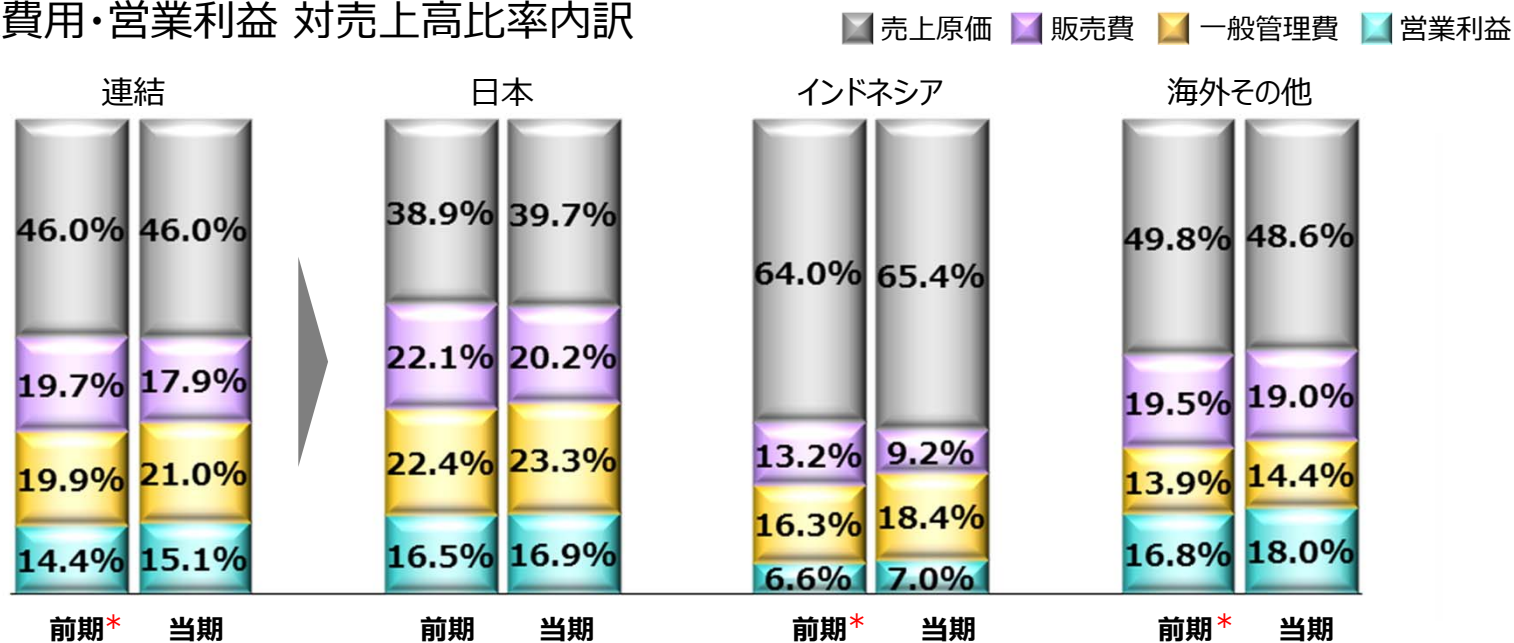


(参考資料) 連結段階利益

3-4. 営業費用実績 同期増減額内訳



3-5. 営業費用・営業利益 対売上高比率内訳



(参考資料) 連結段階利益

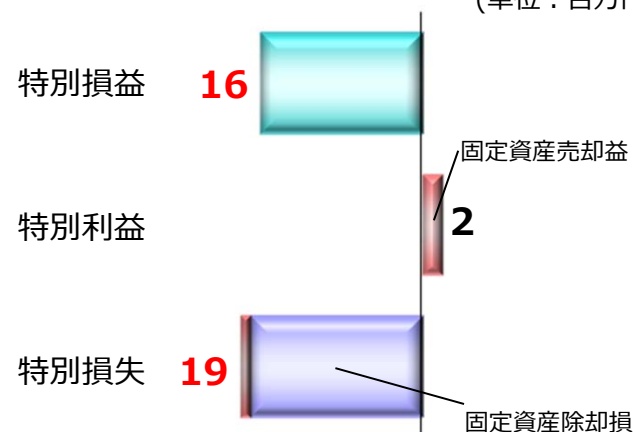
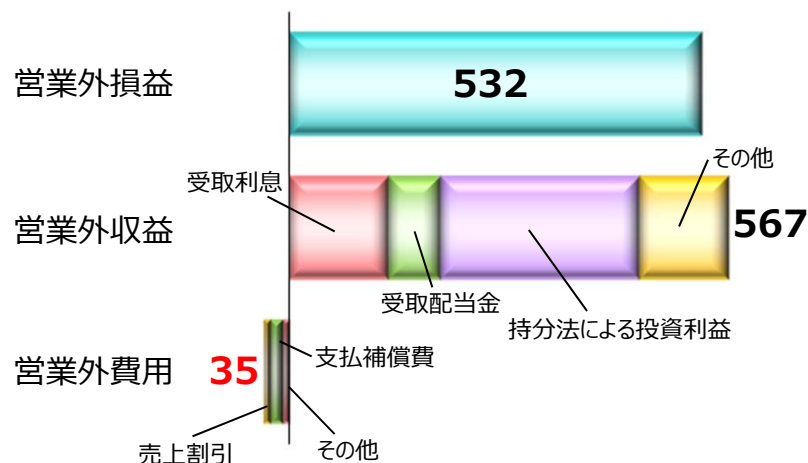
3-6. 経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益

(単位：百万円)

	第 2 四 半 期					
	2019/3期		2018/3期		増減額	同期比
	実績	対売上高	実績	対売上高		
営業外損益	532	1.2%	455	1.1%	77	116.9%
経常利益	7,165	16.3%	6,628	15.4%	536	108.1%
特別損益	▲ 16	▲0.0%	▲ 34	▲0.1%	17	49.0%
税引前純利益	7,148	16.3%	6,594	15.3%	553	108.4%
法人税等	2,004	4.6%	1,910	4.4%	94	104.9%
当期純利益	5,143	11.7%	4,684	10.9%	459	109.8%
非支配株主に帰属する四半期純利益	298	0.7%	327	0.8%	▲ 28	91.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,845	11.0%	4,357	10.1%	487	111.2%

3-7. 営業外損益・特別損益内訳

(単位：百万円)



2019/3月期第2四半期 Mandom単体及びPT Mandom Indonesia Tbk 損益計算書

株式会社マダム

(単位：百万円)

	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比	2019/3期 業績予想
売上高	30,771	29,402	1,368	104.7%	53,500
売上原価	13,481	12,718	762	106.0%	-
原価率	43.8%	43.3%	+0.6P	-	-
販売費及び一般管理費	12,247	11,983	264	102.2%	-
営業利益	5,042	4,700	341	107.3%	5,900
営業外損益	518	519	0	99.9%	-
経常利益	5,561	5,219	341	106.5%	6,650
特別損益	▲ 15	▲ 14	0	103.7%	-
四半期純利益	3,992	3,739	253	106.8%	4,550

■ 連結・単体 減価償却実施額・設備投資額

連結 (単位：百万円)

	2019/3期	2018/3期	増減額
減価償却実施額	1,651	1,574	76
設備投資額	1,765	1,668	97

株式会社マダム(単体) (単位：百万円)

	2019/3期	2018/3期	増減額
減価償却実施額	1,017	1,037	▲ 19
設備投資額	1,060	920	140

※設備投資額には無形固定資産を含む

PT Mandom Indonesia Tbk

現地通貨

(単位：百万Rp.)

	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比
売上高	1,299,310	1,367,008	▲ 67,698	95.0%
売上原価	828,316	846,844	▲ 18,528	97.8%
原価率	63.8%	61.9%	+1.8P	-
営業利益	107,231	112,683	▲ 5,451	95.2%
当期純利益	93,673	98,425	▲ 4,752	95.2%

円換算

(単位：百万円)

	2019/3期	2018/3期	増減額	同期比
売上高	10,264	11,482	▲ 1,218	89.4%
売上原価	6,543	7,113	▲ 569	92.0%
原価率	63.8%	61.9%	+1.8P	-
営業利益	847	946	▲ 99	89.5%
当期純利益	740	826	▲ 86	89.5%

Rp.1 = ¥ 0.0079 Rp.1 = ¥ 0.0084

この資料に記載されている株式会社マダム(以下、当社)の現在の計画、戦略、確信などのうち、過去の事実以外のものは当社の将来の業績に関する見通しの記述であり、現在入手可能な情報に基づく経営陣の仮定と確信に基づくものであります。これらの将来見通しの記述は、既に知られているリスク、知られていないリスクや不確かさ、その他の要因などを含み、当社の実際の経営成績、業績などはこの資料に記載した見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

※記載金額は単位未満を切り捨てております